

指定管理施設事業評価票(令和3年度分)

1. 施設所管課 **教育委員会事務局 スポーツ振興課**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市霧降スケートセンター							
	所在地	栃木県日光市所野2854番地先							
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社							
	代表者名	代表理事 阿久津 正							
	住所	日光市瀬尾1640番地22							
指定期間		平成31年4月1日			～	令和6年3月31日		5 年間	
選定方法		公募			評価実施年		5 年間のうち		3 年目
施設設置目的		市民の健全な心身の育成とスポーツの普及振興に資することを目的に設置。また、スポーツ施設、誘客・冬季活性化施設等としての位置づけられ、日光市のスケート文化を継承する場となっている。							
主な実施事業		大会支援事業（日光霧降スケートセンター杯、パジテスト、社団法人日光成年会議所学童スピードスケート、冬季国体スピードスケート競技県予選会、高体連中部地区スピードスケート選手権大会、全国中学スピードスケート競技選手権予選会、栃木県デビッ子スプリント大会、栃木県スピードスケート選抜大会、小学生記録会、県下中学・高校総体スピードスケート競技、デビッ子スピード競技、栃木県スピードスケート競技選手権大会、日光霧降スケートセンターゴールドスピードスケート大会、青森県対栃木県スピードスケート交歓会選手権大会、全日本学生氷上競技選手権大会（スピードスケート競技）、青森県対栃木県小学生スピードスケート交歓会、デビッ子スピード記録に挑戦する会、全国高等学校スケート競技選手権大会、関東高校選手権大会）、スケート教室事業（ワンポイントレッスン、団体利用ボランティアインストラクタースケート教室）、利用促進事業（オープン日無料開放、スケートの日無料開放）、飾花事業（プランター設置）、施設有効活用事業（日光影体験教室、ふくべ細工絵付け体験教室、自動車イベント、安全啓蒙ｽﾀｸﾞﾚｽ試乗会）							

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	基礎コース/スピードスケート教室の開催	日	80	108	80	中止	80	中止				
b	利用者の満足度	%	90	94.6	90	100	90	100				
c	光熱費削減	%	98.5	93.7	98.5	78.2	98.5	127.1				
d	収入増加(入場者)	人	35,100	28,118	35,100	17,335	27,310	18,349				
e	環境配慮率先行動計画への取組率	%	90	90	90	90	90	90				

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入計 A	37,877,975	37,577,961	37,692,075	0	0
指定管理料	37,309,000	37,309,000	37,309,000		
利用料収入 C					
自主事業収入					
その他	568,975	268,961	383,075		
支出計 B	36,877,425	31,948,089	35,672,625	0	0
指定事業費	36,865,230	31,948,089	35,668,635		
内人件費 D	23,633,160	19,805,363	22,019,314		
内外部委託費 E	5,908,887	5,205,527	4,601,011		
自主事業費	12,195		3,990		
事業収支 A-B	1,000,550	5,629,872	2,019,450	0	0
人件費率 D/B	64.09%	61.99%	61.73%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	16.02%	16.29%	12.90%	#DIV/0!	#DIV/0!
※着色セルは、自動計算としている。					
補足説明	整氷車の油圧ホース交換修繕等を実施した。				
	第77回国民体育大会冬季大会への協力を行った。				
	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ボランティアスタッフによるスケート教室及び、レストラン等の営業を休止した。				

サービス改善の状況

・利用者及び大会関係者の要望に沿うように早朝利用の早開けの実施や、その他利用者の要望を最大限聞き入れて対応した。
・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利用者が触れる可能性がある場所には細目に除菌作業を実施し、利用者に対して検温・健康調査票の提出を行い感染拡大防止に努めた。
・月ごとに館内を職員の手作りの装飾で飾り付けし、施設を華やかにして来場者から好評である。今年度は国体に因んでイチゴの装飾を多く取り入れ好評だった。
・冬季期間の積雪時には、職員の早出等で対応し営業開始に間に合うように、リンク面及び駐車場からのアプローチの除雪作業を行ない対応した。
・第77回国民体育大会冬季大会への協力及び最高のリンクコンディションの提供により、大会新記録につながった。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B A B	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	A C	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B A	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A B A	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B B B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A B A A	A B B A
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	C	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価) ・国民体育大会冬季大会を控え、新型コロナウイルス感染症拡大によりガイドラインを設け利用者に周知徹底し、安全安心な施設運営に努めた。 ・利用実績に関しては、コロナ感染症と改修工事の影響で減少した。夏季利用は緊急事態宣言が発令された影響と日光市主催事業が全て中止になった為、ほぼ利用がなかった。 また、冬季利用では8年ぶりに国民体育大会冬季大会があったが、無観客で行われた事と大会前後の19日間営業出来なかった為、利用実績は伸びなかった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ボランティアスタッフによるスケート教室は中止した。また、レストランも営業休止にした。 ・経費削減について、リンク面改修及び冷凍設備更新工事によりリンク維持には問題なく管理できたが、機械に不慣れな事と国民体育大会を控え良質な氷維持の為節電が充分に出来なかった。 ・職員研修としては、冷凍設備保安講習会及び整氷車安全講習会等を行い、様々な研修会にも参加し職員教育を実施しました。 (所管課評価) ・新型コロナウイルス対策においては自主的にガイドラインを作成するなど、良好な施設運営を行おうとする姿勢を評価した。 ・冬季国体が行われた際は、リンクコンディションの維持等、大会運営に積極的に協力いただいたことは評価したい。 ・利用者数については、新型コロナ対策に伴う休館等により目標を達成できなかったが、次年度は目標達成に努めてほしい。 ・積極的に各競技団体及び所管課と連絡、連携を密にとり、問題を迅速に対応して、スムーズな施設運営に努めたことを評価したい。また、引き続き協力をお願いしたい。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。 B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。 C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。 ※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上	総括評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。